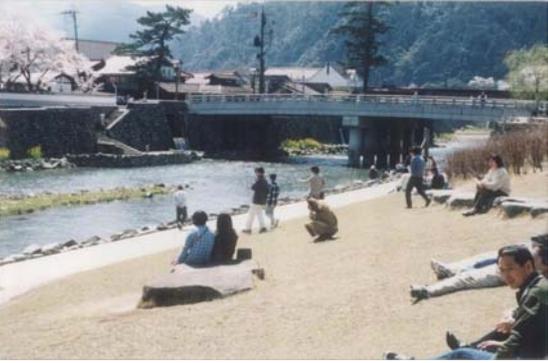


観光社会資本の事例

テーマ	伝統的景観の継承と新たな魅力の創出を目指した「祭りと出会う川」
【施設の状況写真】	
	
<p>川原の庭 庭園から続く緩い芝斜面で水辺まで 行け、多くの観光客で賑わっている。</p>	<p>まつりの広場 周囲の歴史的資源を活用した祭りや イベントの場として利用されている。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>庭園から続く水辺には、多くの観光 客が訪れ、町の観光スポットのひとつ となっています。</p>	<p>観光客のみならず地域住民の憩い の場として、多くの方々に親しまれて います。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>津和野川は、津和野町の観光イメージである「殿町の水路とそこに泳ぐ鯉」をはじめとした沿川に散在する観光資源を結び、楽しく散策できる緑豊かな動線として、多くの観光客に親しまれています。</p>	
<p>また、周囲の神社や歴史的資源を活用した祭りやイベントの場として、地元住民にも活用されています。</p>	

テーマ	伝統的景観の継承と新たな魅力の創出を目指した「祭りと出会う川」
【社会資本の基礎データ】	
○名称	津和野川
○所在地	島根県鹿足郡津和野町
○事業名	ふるさとの川整備事業
○事業主体	島根県
○事業期間	平成元年～10年
【社会資本の役割・効果】	
○ まちづくり効果	
津和野町のまちづくりは、観光面で整備が殿町に偏り、施設の相互の連携が図られていないため、観光地としての広がりがなく、立ち寄り型の観光地で滞在時間を長く取ることができない状態でした。	
このふるさとの川整備事業により、沿川に散在する観光資源を結ぶことができ、観光客に緑豊かな自然を散策できる場として利用されています。	
また、多くの地元の方々にも、祭りやイベントの場として、整備された水辺空間が活用されています。	
【位置図】	
【関連ホームページ】 島根県土木部河川課	
http://www.pref.shimane.jp/section/mizube/library/mizumap/001/tuwano.html	

